

2024年度 北見縣高等学校シラバス

| 〔教科〕 〔科目〕 | 〔地歴公民科〕 〔地歴演習〕 | 3年 | 4 単位 | 教科書 | 詳説日本史 日本史研究 | 副教材等 | 図説日本史図録 | 履修対象・ 使用教室 等 | フロンティア文系 | |
|--|--|-------------------|---|--|----------------|------|--|-----------------|---------------|----|
| 教科・科目の目標 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。 | | | | | | | | | | |
| 評価 の 観点 | 知識・技能 | | | 思考・判断・表現 | | | 主体的に学習に取り組む態度 | | | |
| | 我が国の歴史に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける | | | 我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。 | | | 我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 | | | |
| 評価 方法 | * 単元などの授業内容のまとまりごとに「評価の観点」に基づいた観点別評価を行い、〔A:「十分満足できる」状況 B:「概ね満足できる」状況 C:「努力を要する」状況〕とする。 * 単元などの観点別評価に基づいて、学習全体の総括的な評価を行ったものを「5段階の評定」とする。 | | | | | | | | | |
| 評価 資料 ・ 評価 比重 〔100点換 算〕 | 評価資料等 | | 予定回数・内容等 | | | | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 | |
| | 授業参加 | | 毎時間 | | | | 20 | 30 | 40 | |
| | 小テスト | | 単元終了ごと | | | | 80 | 30 | | |
| | その他提出物 | | 都度 | | | | | 10 | 20 | |
| | 課題研究とまとめ | | 都度 | | | | | 30 | 40 | |
| 〔観点別配分%〕 | | 〔3観点の比重を%で示しています〕 | | | | | | | | |
| 月進行 〔計画〕 | 〔単元名〕 学習項目名 | 配当 時間 〔計画〕 | 学習内容・目標（到達点） など | | | | 主な評価資料 | 評価の重み付け〔○●〕 | | |
| | | | | | | | | 知・技 | 思・判・表 | 態度 |
| 4 5 | 第IV部 近代・現代 第11章 近世から近代へ 第12章 近代国家の成立 | 27 | ・江戸幕府の崩壊から明治維新に至る過程について理解する。 ・幕末から近代初頭の時期の歴史の展開と歴史的環境を関連付けて時代の転換を理解し、近代の特色について多面的・多角的に考察し、時代を通観すること、説明することができる。 | | | | 授業参加 | ○ | ○ | ◎ |
| | | | | | | | 小テスト | ◎ | ◎ | |
| | | | | | | | その他提出物 | | ○ | ○ |
| | | | | | | | 課題研究とまとめ | | ◎ | ◎ |
| 6 7 | 第13章 近代国家の展開 | 29 | 近代西洋の思想や文化・文明の導入の成果とアジアのリーダーとしての国際関係を構築していく流れについて、資料等による分析を通して、多面的・多角的に考察し、理解し説明することができる。 | | | | 授業参加 | ○ | ○ | ◎ |
| | | | | | | | 小テスト | ◎ | ◎ | |
| | | | | | | | その他提出物 | | ○ | ○ |
| | | | | | | | 課題研究とまとめ | | ◎ | ◎ |
| 8 9 | 第14章 近代の産業と生活 | 24 | ・近代国家形成に向けた殖産興業の成果による資本主義経済、金融制度、工業技術発展等について資料等を通して考察し、説明することができる。 ・西洋思想の導入による教育、芸術、文学等の文化的変遷について理解し説明することができる。また、諸産業にかかる技術の発展による生活変化の流れについて多角的・多面的に考察することができる。 | | | | 授業参加 | ○ | ○ | ◎ |
| | | | | | | | 小テスト | ◎ | ◎ | |
| | | | | | | | その他提出物 | | ○ | ○ |
| | | | | | | | 課題研究とまとめ | | ◎ | ◎ |
| 10 11 | 第15章 恐慌と第二次世界大戦 第16章 占領下の日本 | 34 | ・近代国際社会における経済危機・帝国主義による国際関係の緊張と衝突の流れについて考察し、展開を説明することができる。 ・第二次世界大戦への国際社会の展開と戦後のわが国の復興、国際社会への復帰について多角的・多面的に考察し説明することができる。 | | | | 授業参加 | ○ | ○ | ◎ |
| | | | | | | | 小テスト | ◎ | ◎ | |
| | | | | | | | その他提出物 | | ○ | ○ |
| | | | | | | | 課題研究とまとめ | | ◎ | ◎ |
| 12 1 | 第17章 高度成長の時代 第18章 激動する世界と日本 | 16 | ・冷戦下の国際社会における朝鮮戦争・5 5年体制、高度経済成長等の政治経済の変遷と復興について多角的・多面的に考察し説明することができる。 ・国際経済の進展の中での日本の成長や動揺、諸国の成長によるグローバル化等の多様化し激動する国際社会の現状と日本の関わり、将来の展望について多角的・多面的に考察し、説明することができる。 | | | | 授業参加 | ○ | ○ | ◎ |
| | | | | | | | 小テスト | ◎ | ◎ | |
| | | | | | | | その他提出物 | | ○ | ○ |
| | | | | | | | 課題研究とまとめ | | ◎ | ◎ |
| 2 3 | | | | | | | | | | |
| 学習の アドバイス | 授業・課題への誠実・丁寧な取り組みを心がけてください。 | | | | | | | | | |